

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3213402号
(U3213402)

(45) 発行日 平成29年11月9日 (2017. 11. 9)

(24) 登録日 平成29年10月18日 (2017. 10. 18)

(51) Int.Cl.

A 4 7 K 10/48 (2006.01)

F 1

A 4 7 K 10/48

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2017-4044 (U2017-4044)
(22) 出願日 平成29年8月15日 (2017. 8. 15)(73) 実用新案権者 517308817
安田 純二
大阪府吹田市東御旅町2-2-1
(72) 考案者 安田 純二
大阪府吹田市東御旅町2-2-1

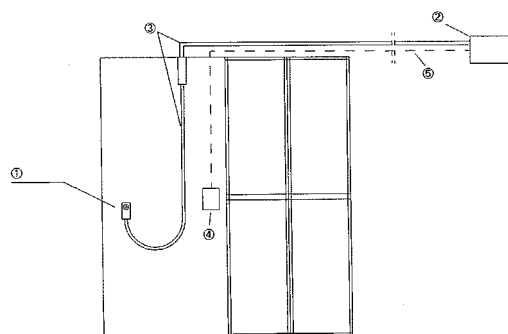
(54) 【考案の名称】 浴室用水滴除去装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】お風呂上りに人体に付着した水滴をエアーの力で除去すると同時に浴室内に溜まった水滴を排出することができる浴室用水滴除去装置を提供する。

【解決手段】送風機2より送られた空気を浴室内の取付けたエアーノズル1より手動にて噴射し人体に付着した水滴を除去すると同時に室内に溜まった水滴も排水溝へと強制的に排出し常に清潔さを保つ事を目的とする。本考案の浴室用水滴除去装置のエアーノズル1は可変式で目的に応じてエアーの勢い範囲を散水栓のように変更出来家庭内でも安全に使える。この浴室用水滴除去装置を使うことにより人体の付着した水滴除去と乾燥手段は、入浴後のふき取り作業を簡潔化し浴室内の乾燥を促しカビの発生を抑える効果があり、時間的にも衛生的にも非常に良い。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

浴室外に設置して使用される送風機と
前記送風機により送られた空気を浴室内に導くエアースト
前記エアーストの先端部に取付けられ
前記エアーストに送られた空気を噴出することによって入浴後の使用者又は浴室から水滴を除去する手に持って操作可能なエアーストノズルを
備える浴室用水滴除去装置。

【請求項 2】

前記送風機は空気を圧縮するエアークOMPRESSORと
前記エアークOMPRESSORにより圧縮された空気をためるエアータンクを有し 前記エアーストには 前記エアータンクにためられた圧縮空気が送られる請求項 1 に記載の浴室水滴除去装置。

10

【請求項 3】

前記エアーストノズルは使用者の手動操作により噴出する空気の流量が可変可能である請求項 1 または請求項 2 に記載の浴室用水滴除去装置。

【請求項 4】

前記エアーストノズルは使用者の手動操作によりエアーストノズルの噴出口の開口の大きさが可変である請求項 1 から 3 のいずれかに記載の浴室水滴除去装置。

【考案の詳細な説明】

20

【技術分野】**【0001】**

本考案は、お風呂上りに人体に付着した水滴をエアーストの力で除去すると同時に浴室内に溜まった水滴を排出する装置に関する。

【背景技術】**【0002】**

現在、エアーストノズルの利用法として産業用が多く主に金属を加工した際に出る粉塵を除去したりする装置が多数考案されている。

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】**

30

【0003】

送風機より送られた空気を浴室内の取付けた
エアーストノズルより手動にて噴射し人体に付着した水滴を除去すると同時に浴室内に溜まった水滴も排水溝へと強制的に排出し常に清潔さを保つ事を目的とする。
従来にエアーストノズルでは勢いが強く人体に損傷を与える可能性があると同時に浴室内の他の装置まで破損する可能性がある。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

前記目的を達成する為、本考案による浴室用水滴除去装置のエアーストノズルは可変式で目的に応じてエアーストの勢い範囲を散水栓のように変更出来家庭内でも安全に使える。

40

【0005】

手元のエアーストガンで勢いの強弱とノズルの先端を回転させる事によりエアーストの噴出角を調整する。

【0006】

エアーストノズルをシャワーヘッドの様に取付けることにより自由度をたかめ人体の水滴を確実に取り去ると共に浴室内のそのほとんどの壁面床面まで届きより多くに水滴除去を可能にする。

【0007】

本考案は家庭用を想定しており送風機の稼働音の問題は、送風機自体を建物外に設置する事で解決する。

50

【考案の効果】

【0008】

本考案による人体の付着した水滴除去と乾燥手段は、入浴後のふき取り作業を簡潔化し浴室内の乾燥を促しカビの発生を抑える効果があり、時間的にも衛生的のも非常に良い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の設置例を示す即断面図

【図2】本考案のエアーノズル

【考案を実施する為の形態】

【0009】

送風機より送られた空気を浴室内に取付けたエアーノズルより手動にて噴射し人体に付着した水滴を除去すると同時に浴室内に溜まった水滴も排水溝へと強制的に排出する。エアーノズルの先端を可変式としエアーの広がる範囲を変化させエアー圧力も可変式とする。

10

【実施例】

【0010】

以下、添付図面に従って実施例を説明する。図1 1 は可変式のエアーノズルで自在に移動させることが出来る、図1 2 は送風機で図1 3 のエアーホースを通じて浴室内にエアーを送り込む、図1 4 は電源で使用に伴い自在にON・OFFが選択出来る。

【0011】

20

図2は図1の 1 のエアーノズルで図2 2 のスロットルでエアーの吐出圧力を調整出来る、図2 1 はエアーノズルの絞りになり吐出するエアーの広がりを調整することが出来る。

【0012】

本考案の実施例は上記説明から構成されるものであるから、お風呂上りに人体に付着した水滴を瞬時に効率よく除去すると同時に浴室内に溜まった水滴を排水溝に強制的に流し常に衛生的な状態を保つと同時に入浴後の拭取り作業の効率化が望めることから今後社会的には介護の現場での使用や公衆浴場の清掃作業等にと使用することで介護職員や清掃作業員の方の仕事の効率化が望め社会的にも貢献できる。

【符号の説明】

30

【0013】

〔図1〕

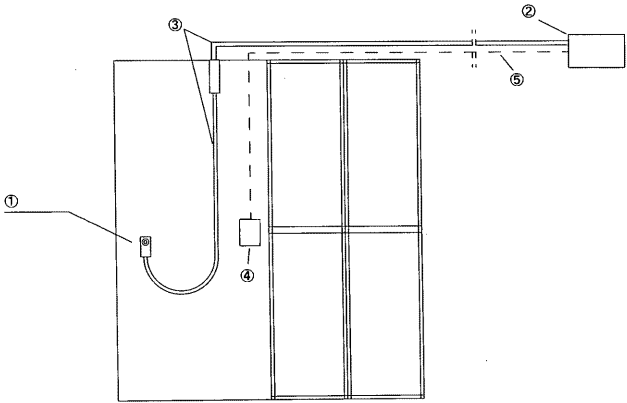
- 1 エアーノズル
- 2 送風機
- 3 エアーホース
- 4 電源スイッチ
- 5 電源コード

〔図2〕

- 1 エアーノズル絞り
- 2 スロットル
- 3 ジョイント

40

【 図 1 】



【 図 2 】

